

みずほCustomer Desk Report 2016/06/29号(As of 2016/06/28)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	101.81	1.1014	112.09	0.9786	1.3230	0.7355
SYD-NY High	102.84	1.1111	113.84	0.9836	1.3421	0.7416
SYD-NY Low	101.55	1.1010	111.93	0.9765	1.3205	0.7325
NY 5:00 PM	102.74	1.1067	113.77	0.9820	1.3340	0.7389
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.82/12.93		△25RR	2.140	Yen Call Over	

	日本2年債	日本10年債	米国2年債	米国5年債	米国10年債	独10年債	英10年債	豪10年債
債券市場	-0.2960	-0.2150	0.6132	1.0078	1.4664	-0.1120	0.9610	1.9880
	▲1.6bp	▲2.5bp	2.0bp	2.7bp	2.9bp	0.4bp	2.7bp	▲6.8bp

	USD/CNH	ドルインデックス
為替市況	6.6845	96.03
	0.0023	▲0.52

	CRB指数	NY金	WTI	Dubai Spot
商品市況	191.545	1,317.900	47.850	44.27
	3.98	▲6.80	1.52	▲0.68

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月28日	18:00	英 BOE国民投票後の臨時オペ	-	-
	21:30	米 GDP(年率/前期比)-3次	第1Q 1.1%	1.0%
	21:30	米 個人消費	第1Q 1.5%	2.0%
	21:30	米 コアPCE(前期比)	第1Q 2.0%	2.1%
	22:00	米 S&Pケースシラー総合20都市(前月比/前年比)	4月 0.45%/5.44%	0.58%/5.41%
	23:00	米 消費者信頼感指数	6月 98.0	93.5
	23:00	米 リッチモンド連銀製造業指数	6月 -7	3
	-	米 EU首脳会合-29日	-	-

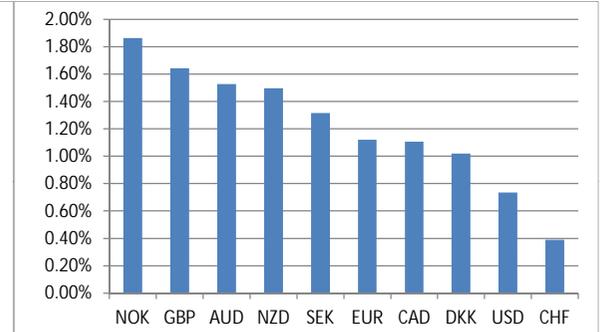
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月29日	08:00	米 パウエルFRB理事、講演	-	-
	15:00	独 GfK消費者信頼感	7月 9.8	9.8
	15:00	英 全国住宅価格指数(前月比/前年比)	6月 0.0%/4.9%	0.2%/4.7%
	18:00	欧 消費者信頼感・確報値	6月 -7.3	-7.3
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	6/24週分 -	2.9%
	21:00	独 消費者物価指数・速報値(前月比/前年比)	6月 0.2%/0.3%	0.3%/0.1%
	21:30	米 個人所得/個人支出	5月 0.3%/0.4%	0.4%/1.0%
	21:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	5月 0.2%/1.6%	0.2%/1.6%
	19:30	欧 コンスタンチオECB副総裁、講演	-	-
	22:30	欧 ドラギECB総裁、講演	-	-
	23:00	米 中古住宅販売契約(前月比/前年比)	5月 -1.1%/4.6%	5.1%/2.9%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	東京時間のドル円は101.81レベルでオープン。前日海外時間には、ルー米財務長官が「危機が発生しているという感覚は全くない。為替介入には市場が無秩序な動きになっているなどの理由が必要」と発言したことから、本邦の為替介入観測がやや後退しドル円は上値重く推移。またこの日はスポット応答日が月末に当たる日であり、実需のドル売りも入り、仲値通過後は安値101.55まで下落する。しかし、その後は前日比▲300円超の下落を見せていた日経平均がプラス圏に浮上したことや、この日から開催されるEU首脳会合を前に過度なリスクオフムードが和らぎ、米ドル相場が堅調推移を見せる中で、クロス円が堅調推移を見せるとドル円は102.22まで上昇。しかし102円台前半では利益確定売りも入り、上値を押し下げられる中で102円を挟んでもみ合い推移が続き、結局101.89レベルで海外市場へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、101.89レベルでオープン。英離脱後の自民党緊急特別会合で、大型補正予算や為替介入も視野に、円高対策の検討を開始したことや、日本政府と日銀が29日午前にも緊急会合を開催するとの関係筋の話等が伝わると102.42まで上昇し、102.34レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1065レベルでオープン。この日から開催される欧州議会およびEU首脳会合で不透明感が払拭されるとの期待感から欧州金利が上昇。ユーロドルも1.1111まで上昇し、1.1072レベルでNYに渡った。米ドルは1.3303レベルでオープン。英格下げ(S&PAAA→AA、フィッチAA+→AA)後の売りが一服し、2回目の国民投票実施を目指すハト保健相が、キャロル英首相の後任選挙で出馬意向を示したことや、英中銀が臨時流動性オペで31億ポンドを供給(応札63億ポンド)したこと等を背景に、英株式市場が上昇。米ドルも1.3373まで買われ、1.3343レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は102.36レベルでオープン。朝方は第1四半期コアPCEが予想を下回り、米GDPの7割を占めると言われている個人消費も前期比+1.5%と前回同+1.9%から低下したものの、GDPが同+1.1%と予想の同+1.0%を上回るなど、強弱混在の結果にドル円の反応は限定的となった。その後は狭いレンジでの推移が続くが、6月消費者信頼感指数が予想を大きく上回ったことや、全体的にドル買い戻しが優勢になったことから102.80まで戻す。午後に入り堅調な株式市場を背景に円売りが優勢となり、102.84まで上昇。午後は狭いレンジでの閉鎖な取引が続く。102.74レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1071レベルでNYオープン。朝方はドル買いが先行したことからユーロドルは上値を切り下げ1.1037まで下落する。午後に入り1.1035まで下落する局面もあったものの、堅調なドルが一気に上昇する動きを受けリスク回避の動きが後退し、1.1090まで戻す。終盤に掛けてはイスタンブールでの円高を受けて反落し1.1067レベルでクロスした。(NY 00531 113 682井上)

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	101.80-103.00	1.1000-1.1150	112.00-114.50

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間は英国国民投票後から続いてきたリスク回避的な動きに落ち着きが見られ、ドル円は上昇する展開となった。米1-3月期GDP(3次速報)の市場予想を上回る結果に対する市場の反応は限定的となったが、欧米株の上昇等を受けてドル円は一時102.84まで上昇する展開となった。本日のドル円相場は上値の重い展開を予想する。昨日から本日にかけて開催されるEU首脳会議でも英国の今後の離脱プロセスについて具体的な決定はないと見られ、依然として不透明感が強い状況。昨日は急落後のポジション調整と見られる動きに反発を見せたが、依然として警戒感が強い中では一段とリスクセンチメントが改善することは難しいだろう。本邦輸出企業の四半期末絡みの円転フローも上値を抑える材料として意識されるだろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。